

ひがし しらかわ 広報

No. 187
'51 1 / 20

人口の動き

人口	3,979人
世帯	959世帯
出生	0人
死亡	4人
転入	4人
転出	12人

—12月末住民登録人口から

■ 発行 / 岐阜県加茂郡東白川村 ■ 編集 / 企画広報課 ■ 印刷 / 関市中部印刷局

懐かしい 伝統操法

新春を飾る出初式に、古式豊かなかいてい操法がひろうされました。

古き良き時代の伝統ある操法が、

若い有志たちによって20年ぶりの復活です。

—1月7日神土小学校

主な内容

- 村長、組合長の年頭所感…2～3 P
- 工場誘致等アンケートのまとめ
……………4～5 P
- 新春恒例の出初式……………6 P
- 歳末たすけあい運動の結果……7 P
- 老人医療費の助成が改正………8 P
- 農業者の生前贈与が有利に……9 P
- 死亡事故が大幅に増加……………10 P
- 村誌こぼれ話……………
- ふるさとへの便り……………



て、新しい構造的な施策が追求されねばならないと思えます。

幸い各地で戦後三十年の経験と時代の推移から、新しい思想や繁榮の中で、必ずしも幸福はありえないことを知ってきました。

したがって人を愛する心、感謝の心、世のため人のために尽くす心、物のありがたさなど人間本来の大切なものが失われ、自らつくり出した世相の中で自らが苦悩する現代社会を招いた皮肉な状態から一日も早く立ち直らねばならないと思えます。

そのためには、まず社会を形成



新しい昭和五十年の新春を迎えて、皆さん明けましておめでとうございます。

勤儉貯蓄を実行

東白川農協組合長 安江慎一郎

苦難の年だったと思われま

昨年中はひとかたならぬお世話になり、ほんとうにありがとうございました。本年もなにとぞよろしく御指導、御べんたつをお願い申し上げます。

昨年三月、組合長に就任させていただきます。反響して見ますに、皆さんの協

する原単位である家庭を安らぎのあるものとする事です。

家族の温かい愛情と信頼関係は家庭を支え、地域を明るくする根源なのです。

幸い本村は、祖先から受け継がれてきた素材で人情あふれる豊かな村民性、根強い協調性があります。これらを生かし、住民総参加による調和のとれた村づくり、全村民一丸となって推進しなければならぬ時だと考えます。

農林業の振興は後継者づくりから

力と、村当局の理解により、農協事務所がらつぱに完成し、ほんとうに喜びに堪えません。

一方、農業生産につきましては皆さんの不断的努力と、天候に恵まれ、かつてない成果を見たものの、経済不況のしわ寄せと、過去の凍霜害の傷跡整理に

食糧・石油問題に端を発した社会経済情勢の激変は、農村および農業が単なる生産の場であるのみでなく、広く国家社会のすべての安定基盤であり、その活力の源泉であるとして見直されてきています。

村の恵まれた自然と、調和のとれた農林業振興地域としてのその地位の確保をより高めねばなりません。

そのためには、まず農業の中核的担い手の育成が第一要件といえます。すなわち豊かで明るい農家づくりは、良き後継者をつくること

しての「勤儉・貯蓄」、入るを図って出づるを制することです。

いわゆる「堅い仕事」がたいせつであることを再確認し、皆さんの総力を結集して増産に拍車をかけ、収入の増大を図りたいと思えます。

もちろん経費の節減に努め、皆さんとともに堅実な道を進みたいと思

います。

なにとぞ新しい昭和五十一年は今までの情性から脱出して、あらゆる面で堅実な昔からいわれている質実剛健、勤儉貯蓄が勇敢に実行できる年になるよう衷心より祈念いたしました。新年のごあいさつといたします。

とであります。意欲を持って生産活動に従事することのできる体制づくりが先決であり、魅力ある希望の持てる、そして一級の花嫁が喜んで来てくれる農家実現への理解を深め、自らやる気のできる農業にしたいものです。

そして、後継者対策と標準的農業経営において、作目の如何にかかわらず所得均衡が実現できる流通体系確立への努力など、今後の東白川農政の大きな役割器と思

しかしながら、不況の長期化に伴って町村財政は、いよいよ重大な危機に見舞われつつあります。そのため低成長時代に適応していく新たな発想が必要であり、もとより財源の効率的運用と経費の節減をいちだんと強化しなければなりません。

したがって、今年の財政運営は今までにまして緊縮財政を必要とし、健全性を保ちながら、経済と効果の要求を最大限に果たしていきたいと思

このためには、全村民の理解と節度ある財政運営に、協力をいただく必要があります。

以上、年頭にあたり、私の考えの一端を申し上げ、今後、より豊かで住み良い村の建設を目指し、いよいよまい進することを決意するものです。皆様の理解と協力をお願いします。御多幸をお祈りいたします。

島倉 計昭(上親田) 今井 愛子(宮代)

(十一月)

額額 完治(柏本) 道脇たす子(本奥郡根尾村)

安江 忠昭(陰地) 坂井 寿子(各務原市)

(十二月)

安江 哲男(日向) 谷川 照代(中津川市)

田口 秀久(大明神) 安江 小鈴(黒瀨)



おくやみ 申しあげます

(十月)

田口 金十(中谷) 安江 好郎(西瀨)

(十一月)

田口 綾子(平) 今井 安市(黒瀨)

今井 さすあ(大沢) 今井 とのめ(宮代)

松岡 はるの(日向) 今井 義一(柏本)

(十二月)

古田 宮次(久須見) 田口 しやう(上親田)

安江 みな(日向) 安江 延吉(平)

場誘致の希望

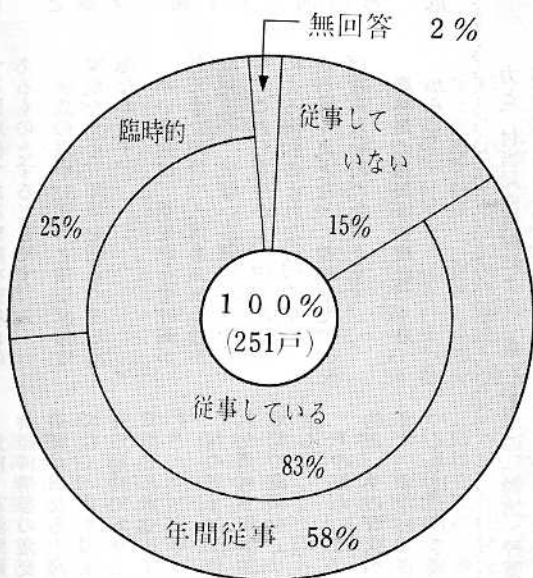
映が今後の課題

私たちが暮らしを守り、安定した生活を営むためには、収入の基となる「仕事」が必要であることは言うまでもありません。農家の兼業化が進んだ現在では一家の世帯員の仕事もさまざまに農業のほかには何か良い仕事がないものかという希望も多くあるようです。

そこで、私たちの村へ工場を導入したり、新しい仕事を拡大するための資料とするために、産業振興課が中心となり村の4Hクラブ員の協力で、昨年の四月から五月にわたって行ったアンケートの結果がこのほどまとまりました。

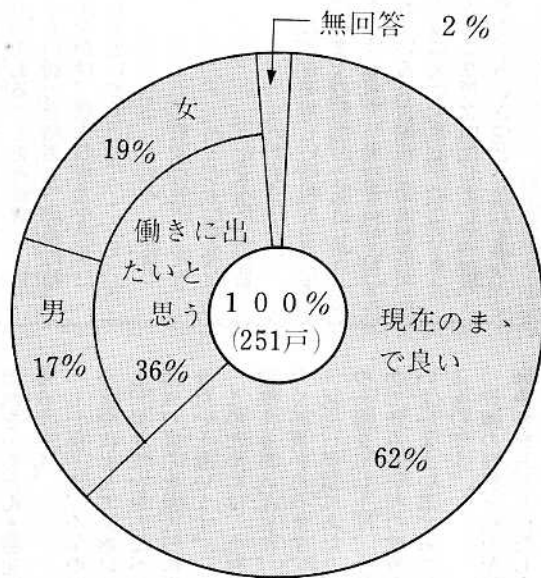
これらの結果は、議会や農業委員会などにも報告され、さらに検討を加えたうえで将来構想や計画に反映されていくことになっていきます。

現在の村を今一度考え、将来どのよう方向づけていったら良いかを、家庭で、地域で話合っていたりするための資料として、新春第一号の広報でアンケート結果のあらましを特集しました。



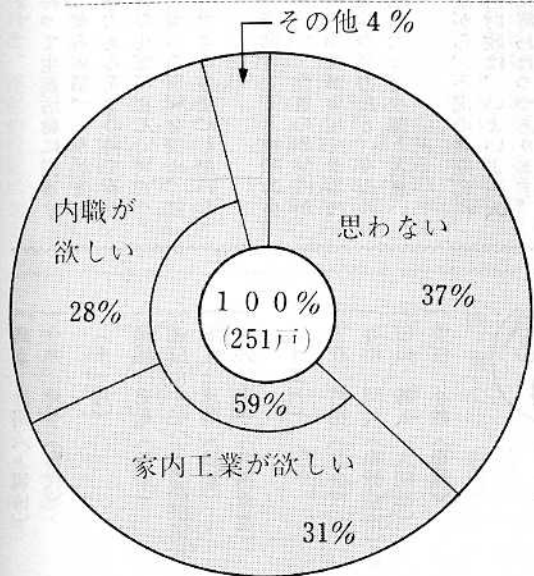
1 世帯員のだれかが、現在農業以外の仕事に従事していますか

何らかの形で農業以外の仕事に従事している世帯は83%に達しているがこれはある程度予想できるとして、年間従事58%という数字は、やはりかなり高い「固定的兼業就業率」を示している。



2 良い仕事があれば世帯員のだれかが働き出たいと思いますか

この質問で「現在のままで良い」の62%は、前の「年間従事」58%を占めている固定的な兼業を持っているため現在のままで良い……という事が基礎であろうが、なお36%が良い仕事があれば世帯員のだれかが働き出たいと思っている世帯である。



3 外へ働きに出るのではなく家でやれる仕事が欲しいと思いますか

家内工業が欲しい、良い内職がほしい……が合わせて59%、仮りにこの要望がすべて実現したならば、その時農業はどのような立場に置かれるだろうか。

工場導入、労働対策アンケート

いぜん高い工 将来計画への反

調査方法

農家台帳から半分の二百六十戸を抽出し、4日クラブ員十三名が訪問聞き取り調査を行った。

回収は二五二戸（回収率九六・五％）

調査のねらい

(1) 農家の立場で農業以外の仕事（兼業）に対し、どのような意識を持っているか。

(2) 内職、家内工業などの導入希望はあるか。

(3) 工場導入の是非

調査の時期

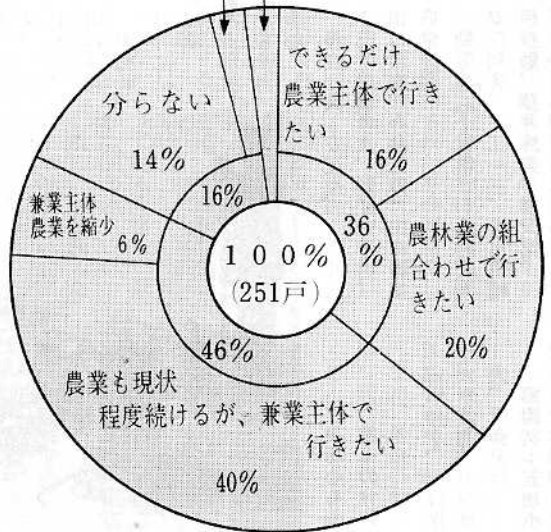
昭和五十年四月―五月

4 あなたの家の農業は今後どうされますか

3の疑問にある程度答えてくれるのがこのグラフである。「兼業主体」で行きたいと答えた農家は46%あり、これに「分らない」「迷っている」の16%を加えた62%が、3のグラフの兼業志向59%にほぼ一致する。

次に4のグラフに表われた「農業主体で行きたい」16%は戸数にしておよそ90戸であり、1975年農業センサスによる1ha以上の経営耕地を有する農家数85戸とほぼ一致する。このことは本村の農業自立経営の限度を示しているようであり、反面兼業対策の重要性も示しているようである。

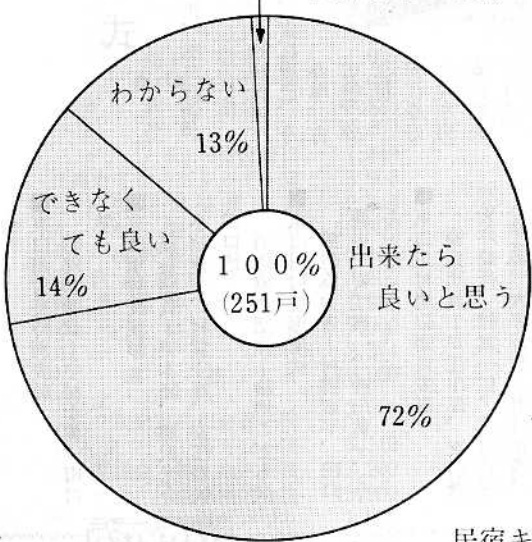
迷っている 2% その他 2%



5 この村に適当な工場ができたら良いと思いますか

できたら良いと思うの72%は圧倒的であり、少なくとも農家の間には工場導入を希望する意識が強い。しかしこれは一般論であり、具体的な突っ込みの無い意識であるため問題点も多い。

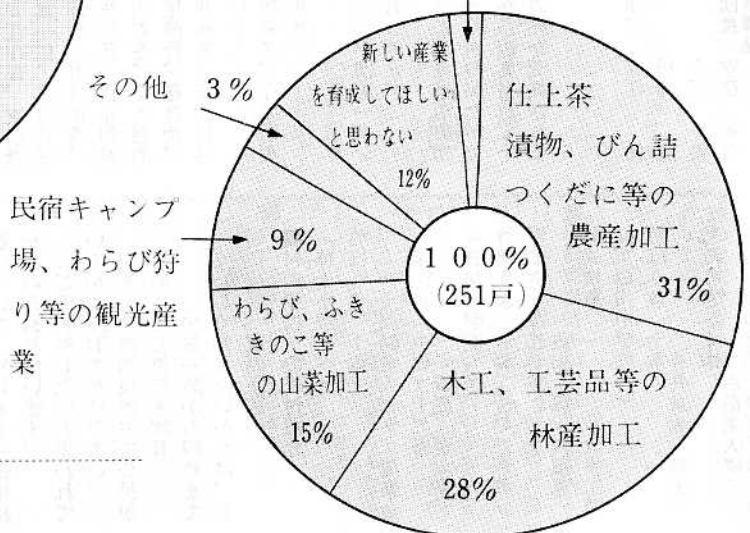
回答なし 1%



6 村で新しい産業を育成して欲しいと思いますか

何らかの新しい産業を育成してほしいと思うものは合わせて86%になる。

回答なし 2%



寒気ついでいっせい放水

盛大に新春恒例の出初式

新春恒例の東白川消防団出初式が小雪の舞う一月七日、午前九時半から神土小学校々庭で盛大に行われました。

前日の雪で真白になった校庭には、古田団長以下百九十名の団員と、消防自動車三台、ポンプ積載車二台、小型動力ポンプ十四台が勢ぞろい、寒気を打ち破る号令の下できびきびとした演技をひろうしました。

功績のあった団員や、消防活動に協力された個人や団体の表彰、内外来賓の祝辞、村長、団長の式辞が続いた後、特に今年、団員有志による昔懐かしい、かいてい操法がひろうされ、盛り上げに一役買いました。

そして場所を白川添いの道路に移し、出初式のハイライトであるいっせい放水、十七台のポンプからすばらしい水煙が立ち上りました。

こうして、村の防火・防災のかなめともいべき消防団の一年がスタート、今年もまた明るい村を支える陰の力として大きな期待が寄せられています。

当日、表彰されたかたがたは、次のとおりです。

■岐阜県知事表彰

功労章—安江利勝、桂川耕輔

■加茂県事務所長表彰

功労章—木村成人、中島潮己

■岐阜県消防協会長表彰

功績章—安江一三、安江源一

■功績章

—中村十美、田口学、高木秀一、田口勝司

■感謝状

—平こと

■加茂郡消防協会長表彰

優良団員—安江進吾、今井八十、村雲孝次、安江三子男、田口政春、今井光郎、田口勝司

■功労章 (十五年)

—木村成人

■功労章 (十年)

—田口政春

■功労章 (五年)

—桂川耕輔

■功労章 (功績)

—安江一三、安江源一

■感謝状

—平こと

■加茂郡消防協会長表彰

優良団員—安江進吾、今井八十、村雲孝次、安江三子男、田口政春、今井光郎、田口勝司



身も心も引きしめて堂々の分列行進

■東白川村長特別表彰
特別功労章—中村十美、田口学

■東白川村長表彰

優良団員—栗本隆、熊沢光介、小池捷一、村雲守雄、安江君夫、田口徳

■消防協力団体—陰地こども会

消防協力者—村雲康平、田口諫男、安江真一、桂川祐一、今井一郎

■東白川村消防団長表彰

優良団員—安江作郎、安倍徹、大坪兼行、村雲一仁、三浦省三、安江隆、大坪鉦明、田口宗雄、安江徳之、今井和弘、今井和義、今井久高、桂川義春、安江完治、今江晴夫、三尾清行、島倉功、安江広文、今井春夫、安江哲男、林昇

■功労章—梅田典孝、今井照夫

安江房好、高井産

■ポンプ表彰

管理優秀—第一分団第一ポンプ、第二分団第七ポンプ

■功労章 (功績)

—中村十美、田口学、高木秀一、田口勝司

■感謝状

—平こと

■加茂郡消防協会長表彰

優良団員—安江進吾、今井八十、村雲孝次、安江三子男、田口政春、今井光郎、田口勝司

■功労章 (十五年)

—木村成人

■功労章 (十年)

—田口政春

■功労章 (五年)

—桂川耕輔

■功労章 (功績)

—安江一三、安江源一

■感謝状

—平こと

■加茂郡消防協会長表彰

優良団員—安江進吾、今井八十、村雲孝次、安江三子男、田口政春、今井光郎、田口勝司

■功労章 (十五年)

—木村成人

■功労章 (十年)

—田口政春

■功労章 (五年)

—桂川耕輔

■功労章 (功績)

—安江一三、安江源一

項目	10月 末	11月 末
人口	3,991人	3,991人
出生	961	961
死亡	5	4
転入	2	6
転出	6	15
転入転出	8	13

■岐阜家庭裁判所が家事出張相談を行います

岐阜家庭裁判所では昭和五十年年度中に、夫婦、親子の問題、相続、扶養、養子縁組、氏名の変更など家庭や親族に関する問題について、無料家事出張相談を次のとおり行います。

日ごろ相談したいと思われるかたはおでかけ下さい。

場所 美濃加茂市中央公民館

日時 毎月第三木曜日 午後一時から四時まで

くわしく知りたいかたは、役場民生課へ電話下さい。

■村内学校への寄付紹介 (神土小学校へ)

竹ぼうき 十本

—神土西洞老人クラブ清楽会 児童図書(中古)十二冊 安江 要(平)

(五加小学校へ)

竹ぼうき 十本 老人クラブ

川ます 百五十びき 古田 保(久須見)

略式校旗 一 大平工業 (東白川中学校へ)

竹ぼうき 十本 今井倉太(神土)

竹ぼうき 十本 西洞老人クラブ

古田伸幸、田口洋規、今井邦光、大岩俊逸、山中真善美、安江建夫、伊藤宏行

伊藤勉、藤井勝美、熊沢寛

感謝状—五加小学校下こども

歳末たすけあい運動

大きく広がる善意の輪

恵まれないかたがたへ47万9千円

昨年の暮れに行われた歳末たすけあい運動の募金結果がまとまりました。その結果、不景気といわれた師走の中で展開された募金運動でしたが、四十七万八千七百十九円という多額な募金が、寄せられました。自分たちの生活がせいじっぱいといわれている世相の中で、恵まれない人たちのことを考え、募金に参加することは、なかなかたいへんなことといえます。みんなそろって明るく楽しい新年を迎えるためにと大きく広がった善意の輪は、新しい年を迎えた今も、村づくりに、住みよい地域づくりの大きな支えとなるといえます。

- 村では、これらのご厚意を村長はじめ民生委員が手分けして、村出身で施設へ入ってみえる老人や子供たちや、村内の恵まれないかたがたへお届けしました。このほかに、美濃加茂ロータリークラブから毛布十二枚が贈られあわせて村内生活保護世帯へ配布されました。また、趣原の越原商事（代表者 田口勉夫さん）からは、お茶をたくさん寄付していただき、それぞれ施設に配布させていただきました。
- 主な配分先は次のとおりです。
- 一、精薄児・肢体不自由児（者） 八万円
 - 二、成人施設入居者 六千円
 - 三、老人施設・在宅老人 十二万円
 - 四、長期療養患者 三万一千円
 - 五、生活困難世帯 十四万二千円
 - 六、災害者・辺地・その他 二万二千円
 - 七、老人福祉施設 一万二千円
 - 八、成人・青少年福祉施設 一万二千円

根 羽 赤
金 募 共
目 標 上 回 る
二 十 万 円

昨年十月に行った赤い羽根たすけあい運動も皆さんの温いご協力のおかげで、目標の十五万円を大幅に上回る十九万九千三百九十八円という募金が集まりました。この募金は、全部岐阜県共同募金会で集められ、それぞれ、養護施設、老人ホーム、母子寮、保育所、精神薄弱児（者）施設などに配分されました。

九、施設入所者見舞品 四万七千五百五十円
合 計 四十七万一千五百五十円

■田口虎彦さんが十万円を寄付
昨年十一月十九日、神土平の田口虎彦さんが、亡なられた奥さんの葬儀玉串料から村内の学校教育に役立て、下さいと十万円を村に寄付されました。村ではこのご好意をありがたくお受けし、有効に利用させていただくことにしています。

■村の読書サークル協議会が全国表彰
十二月十一日大垣市において行われた第十五回岐阜県読書活動推進大会の席上において、東白川村読書サークル協議会が社団法人読書推進運動協議会の全国表彰を受けその伝達が行われました。

大	口	4,150
下	田	36,250
上	田	10,600
中	通	14,250
神	付	16,300
中	谷	6,200
加	尾	10,900
西	洞	1,700
曲	坂	9,350
日	向	6,320
陰	地	28,350
枳	山	27,800
黒	測	8,330
大	神	9,090
柏	本	19,570
宮	代	19,650
大	沢	7,150
下	野	7,800
久	見	4,600
須		5,000
今	同	4,000
井	会	4,104
カ	同	4,050
ミ	職	2,600
ソ	員	4,000
リ	一	8,379
グ	同	4,000
ル	同	3,000
ー	設	3,178
ア	同	8,000
ー	同	3,600
同	同	1,000
同	同	5,000
同	同	8,417
同	同	3,021
同	同	3,855
同	同	1,000
同	同	2,000
同	同	2,835
同	同	32,008
同	同	1,449
同	同	5,000
同	同	2,340
同	同	10,800
同	同	5,118
同	同	3,500
同	同	1,000
同	同	7,000
同	同	8,374
同	同	10,000
同	同	3,000
同	同	6,140
同	同	13,200
同	同	15,000
同	同	1,634
同	同	1,000
同	同	1,250
同	同	501
同	同	1,000
同	同	3,000
同	同	1,300
同	同	1,000
同	同	5,000
同	同	2,000
同	同	706
同	同	2,000
同	同	3,000
同	同	2,000

一月から六十九歳に

老人医療費の助成制度変わる

老人医療費の助成が今年の一月一日から変わり、六十九歳から医療費の助成が受けられるようになりました。

今までの老人医療費助成は七十歳以上の老人が対象になっていましたが、こんど村では六十九歳の老人で、定められた所得制限にか

からない者に医療の一部を助成することにしたものです。

こんど新たに加えられた六十九歳老人医療費助成の内容は次のとおりです。

- 一、受給対象者
本村に住んでいる満六十九歳の老人で村で定める所得制限に



松岡正平さん
(越原陰地)



緑白綴有効賞を受賞

本村農業振興に大きな功績

昨年十一月二十一日、東京の三会堂ビル九階石垣記念ホールにおいて、松岡正平さんが、社団法人大日本農会総裁高松宮仁親王殿下より「緑白綴有効賞」を受賞されました。

この賞は、国内をはじめ国外

において、農事改良の実行に功績があるとともに、農業の発展に貢献し、現在、農業に従事している人へのみ御親綴されるものです。

松岡さんは昭和二十五年から越原製茶組合長、昭和三十五年から東白川村茶業振興会長、昭和三十六年から白川茶農協連合会副会長として就任以来、いずれも現在にいたり、その間、上級緑茶「白川茶」の生産基盤の確立をはかるため、率先して品質の良い緑茶の生産につとめ、同時に、集団茶園の造成による栽培規模の拡大、大型緑茶加工施設の整備拡大、緑茶共同販売体制の拡充整備等、上級緑茶の生産から販売に至る組織づくりにつとめ、白川茶の主産地づくりに貢献された、長年の功績が認められたものです。

- 二、受給開始期日
昭和五十一年一月一日診療分から。
- 三、受給資格の期間
六十九歳の誕生日の初日から七十歳の誕生日の前月末日まで

- 四、助成額
保険給付をしない前の医療費すなわち総医療費の十分の一（最高一万円とする）の額を除いた一部負担金について助成します。

かからない者です。

〔例〕通常の場合

保険診療 総医療費 A	基礎控除額 (A×1/10又は1万円) B	法定額 除給(A×9/10) C	助成額 A-B-C=D
25,000	2,500	17,500	5,000

五、受給者証

六十九歳の誕生日の前月中旬に受給者証交付申請書を役場へ出して受給者証を受取ります。

六、受診の方法

六十九歳老人が医者にかかる場合は、その都度「六十九歳老

- 七、助成の方法
一カ月の診療が終わりましたら医療費助成申請書（役場にあります）に医師の一部負担金領取書を添付して役場へ申請していただく、助成金を支払います。

ただし東白川病院にかかった場合は、申請をしなくても翌月に助成金を支払います。

- (1) 本人ひとりの場合所得額六十一万円以上
- (2) 本人に扶養親族がある場合
扶養親族ひとりの場合七十六万二千五百円、扶養親族ふたり以上の場合ひとりにつき、二十二万円を加算した額

〔例〕

本人に所得があつて、本人に扶養親族が三人ある場合は

年の始めを

マラソンで

大明神部落の皆さん

希望に満ちた昭和五十一年の暮明けを、部落ぐるみでマラソン大会を行った越原大明神の話題。元旦の早朝七時に部落の中心である子護神社に女性を含む大人二

762,500 + (220,000円 × 2) = 1,202,500円
百二十万二千五百円以上の所得のある者は制限にかかりません。

扶養義務者または、配偶者に所得がある場合
扶養義務者に扶養親族五人ある場合は
6,306,800円 + (220,000円 × 4人) = 7,186,800円

七百十八万六千八百円以上の所得のある者は制限にかかりません。

この所得の範囲は地方税法に定められる市町村民税の所得です。こんど場合は昭和四十九年の所得になります。

なお、今回の六十九歳老人医療費助成制度が新たに加った機会に従来の七十歳以上の老人で国で定める所得制限にかかった者の老人医療費支給制度と乳幼児医療費支給制度と重度心身障害者医療費支給制度を一本化し「福祉医療費助成」制度として、老人、乳幼児、重度心身障害者の福祉増進を図るためにスタートしました。

十人、小中学生二十三人が集合、中峠を経た部落一周のコース約三線を走破しました。

親睦と体力づくりを兼ねたこのマラソン大会は、今年始めての試みとして行ったものですが、力いっぱい走り、さわやかに新年を迎える味はまた格別、来年も続けたいと大好評だったようです。

農業者の生前贈与が有利に 相続税の納税猶予制度に改正

従来の生前一括贈与の贈与税の納期限の特例が、今回の改正で相続税の納税猶予制度に切りかえ存続することとされました。この改正は、昭和50年1月1日以降の贈与から適用されます。

贈与者は、贈与の日まで引き続き、三年以上農業を営んでいた個人で、穀作農業、果樹園農業など主たる事業として経営する者を用いものとされ、自家消費のため、野菜、花、果樹等の栽培育成または生産を行う個人は含まれません。

贈与を受ける者は、贈与者の推定相続人のうちのひとりである贈与のあった日において年齢が十八歳以上であり、しかもその取得の日まで、三年以上引き続いて農業に従事しており、その贈与による農地等の取得後すみやかに農地等にかかる農業経営を行うこととな

つています。この場合の農地等とは、農地法第二条第一項に規定する農地、および採草放牧地（農地採草放牧地の上に存する地上権、永小作権を含みます。）で、その贈与者が、農業の用に供しているものを言います。また農地等を贈与した日については、農地法第三条の規定による都道府県知事または農業委員会の許可のあった日とされています。適用対象となる農地は、農業の用に供している農地の全部及び採草放牧地とともに、準農地の三分の二以上を贈与した場合です。納税猶予を受けるための手続きとして、受けた日の属する年分の贈与税の申告書にその旨記載するとともに、担保を提供しなければなりません。また、贈与者及び受贈者が適用を受けるための適格者であることの農業委員会長の証明書、推定相続人である旨を証明する戸籍謄本、または抄本を添付する事になっております。

合わせて贈与者から、贈与により農地等を取得した契約書や、地目、面積等を記載した書類も提出することになっております。そうした関係書類とともに、納税猶予を受ける農地の全部か、納税猶予税額に見合う担保を提供しなければなりません。この場合、納税猶予税額に見合う担保を提供するには三ヶ月ごとに納税猶予を継続して受けた旨の届出書の提出が必要となつてい

ます。そうした手続きにより、贈与の翌年の二月一日から三月十五日までに申告していただくこととなります。贈与税の納税猶予制度の仕組みを参照していただければおわかりかと思いますが、納税猶予中に理由が生じ、納税猶予が全部ストップし、全額納付しなければならぬ事実が生じた場合や、一部ストップしてその事実に見合う猶予税額を納税しなければならぬ場合は、年六・六割の利子税が必要となります。税務署は、五日を納税相談日（休祭日は翌日）としておりますので、お気軽にお尋ねください。

受取つてますか

「公給領収証」

皆さんが、料理店や飲食店、旅館、バーなどを利用されたとき、その利用行為に対してかかる税金を「料理飲食等消費税」といいます。

店の経営者が、飲食等の料金と一しよにこの税金を受取つた証拠として、前もって岐阜県から店の経営者に渡してある領収証を必ず渡さなければならぬことになっております。つまりこの領収証が「公給領収証」なのです。この公給領収証によってお客さまから納めていただいた税金は店

の経営者が毎月分をとりまとめ翌月末までに岐阜県へ納めることになっていきます。みなさんは、公給領収証を受取ることによって自分が支払った料金の明細を知ることができ、納めた税金が正しく県へ納められることを確認することにもなるのです。公給領収証はこのように皆さんから納めていただいた税金と岐阜県を結ぶ唯一のかけ橋なので、これからも、料理店、飲食店、旅館、バーなどを利用されたときは、必ず料金と引換えに公給領収証をお受けとりください。—中濃県税事務所—

木材引取税

申告は正確に

販売額などの記帳が便利

二月になりますと所得税の確定申告と、住民税の申告が始まります。毎年のことながらこの時期になると木材の販売額が問題になってきます。販売額は、国へ納める所得税と、村・県民税の計算の基礎となるほか、村へ納めていただく木材引取税の計算の基礎になりますので、販売した場合にはその年月日や樹種、数量、販売金額などを記帳しておくことが非常に

便利です。さて、木材引取税については、本紙の昭和五十年一月号で説明しましたが、次のように村の税条例で定められていますからご協力をお願いいたします。

■木材引取税は、引取（売買）のあった月の分をまとめて翌月七日までに申告納付していただくことになっております。

■木材引取税の計算の基礎となる

金額（課税標準額という）は、素材の販売価格とすることになっておりますので、人手を借りて伐採や搬出をしてもその経費を販売額から差し引いた額を課税標準とすることはできません。

■自家用材でも木材引取税を納めていただくことになっております。以上のとおりですから、昨年十二月までに販売された素材についてまだ申告納税がすすんでいない分がありましたら至急納税の手続きをして下さい。

なお、今後についてもご理解とご協力をお願いします。

死亡事故が大幅に増加

昨年加茂署管内では二十二二人

昭和五十年年度中に県下で発生した交通事故件数をまとめてみると別表のようになります。

昨年一年間に交通事故で亡くなった人は二百十三名、四十九年の百七十二名と比較してみると、約二三・八割も増加しました。

昨年の死亡事故の特徴は、週末に事故が集中し、居眠り運転やスピードの出し過ぎがもとで、一件の事故発生で多数の人が死亡するという痛ましい事故が相ついだこと。

経済事情の緩和から長距離ドライブが増え、最高速度違反による若者の事故が多発したことなどが主なものです。

次に加茂署管内の発生状況を見ますと、俱全体と同じように発生件数、負傷者は減少していますが

死者が異常に増加しました。

当署管内の死亡事故の原因は、

一、居眠り運転

(四件)

一八人

死亡)

一、酒酔

い運転

(三件

一五人

死亡)

一、スピード

のドの

出し過

ぎ(二

件一

二人

死亡)

一、踏切

の安全

不確認



さる一月四日無理追越しに よって七名の重軽傷者を出した事故(七宗町一七宗町地内41号線)

(二件一人死亡) となっており、国道四一号においても大きな事故が目立っています。

本村の運転者の皆さんも、仕事買物、レジャー等にこの国道四一号を利用します。

県道や村道と違いスピードを出すことができる国道での事故は、

ひとつま ちがえば 悲惨な死 亡事故に つながります。

私の作品 詩

五加小4年 安江かすみ
五加下野 安江力男さん (長女)

雪

雪がちらちらふりだした
大喜びで外にでると
外は銀世界だ
ああ まぶしい
雪だるま作ろうか
それとも
雪うさぎにしようかな

しばらくたって
友だちがやって来た
雪合戦が始まった
みんな「キャッキャッ」
さわいている

雪合戦もおさまって
みんな雪のかんさつだ
虫めがねで見てみよう
わあ きれいだ
花のようにきれいだ
雪はさとうのようだ
たべてみるとあまいかな

昭和50年中の交通事故発生状況

区分	人身件数	死者数	負傷者数
岐阜県	7,114	213	9,644
49年減	7,601	172	10,486
増	- 487	+ 41	- 842
加茂署	391	22	526
50年減	411	10	603
増	- 20	+ 12	- 77

この国道を走行される際には、死亡事故が多発している所だというのを頭において、交通法規をしっかり守ってハンドルを握って下さい。

今年も私たちの回りから悲しい交通事故が起きないように、安全運転をお願いします。

横の連携を密に 村の文化協会が発足

昨年十一月二十三日村民センターにおいて東白川村文化協会の設立総会が行われました。

村民お互いの心の豊さを求めて現在活躍している各文化サークルやグループが横の連携を密にし、さらに多くの皆さんの参加を得て村の文化をもっと高めていこうというものです。

協会には現在十四のサークル、グループが加入しています。

この総会において次の方々が、役員に選ばれました。

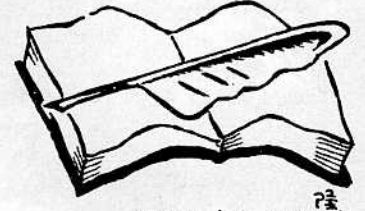
スリップ事故 冬の道路は要注意

例年になく大雪と凍結によって村内の道路は赤信号です。

タイヤチェーンの着用とあせらずあわてない運転に心がけ事故防止に心がけましょう。

- 会長 安江多策、副会長 田口博、書記 今井恒行、会計 小池正二、理事 安江重子(清流会)、村雲勝、安江孝(三ツ葉会東白川支部)、今井桂子、大坪まゆみ(木犀会)、安江忠子(三味線クラブ)、今井登(東白川村読書サークル協議会)、田口良三(木の実会)、三戸きり(東白川村民踊クラブ)、村雲一男(歌舞伎愛好会)、桂川耕輔(囲碁クラブ)、安江鉄郎(写真クラブ)、安江峰子、神戸啓子(茶道クラブ)、今井林平(文化書道クラブ)、古田順子(五加書道グループ)、栗本勇(日本習字教育連盟書道クラブ)
- なお、協会への加入についてのお問い合わせは、教育委員会事務局へ連絡下さい。

村誌こぼれ話



編さん室だより

洗剤メーカーと村のつながり

月のマークでおなじみのK社といえば、全国で一・二を競う洗剤のトップメーカーとして、だれでも知っているが、その創立者である長瀬富郎氏が、実はこの東白川村神土と深いつながりがあったことを知る人は少ない。

上の写真は、この人初代長瀬富郎氏から、明治四十四年十月に神土小学校へ百科辞典（全七巻）を贈られたときの目録で、下の写真は、翌四十五年四月に同氏夫人から、神土小学校の基本財産として一千万の有価証券を贈られたときのものである。

この初代長瀬富郎氏は、恵那郡福岡村に生まれ、明治七年（一八七四）十二歳のとき、当時塩岡屋を経営していた神土の若松屋へ母

方の縁故から、修業のため丁稚として入店し、十七歳のとき、雑貨商として開業した若松屋西店（現主服田孝彦氏）の番頭をつとめ、明治十八年二十三歳までの十年間余の商売修業をこの村で鍛えた。

その後東京に出て、幾多の辛苦を経たあげく、現在の会社の前身である長瀬商會を創立し、その基礎を築いた人である。明治四十四年十月、四十九歳の若さにして惜しくも他界されたが、上の写真の目録は、その直前のものである。

当時神土小学校は、現在地に新築されたばかりのときで、その完成を祝つてのことであろうが、当

病氣に対する知識

最近、雑誌・テレビなどにより病氣に対する知識も豊富になつていゝが、それも、病名とか、用語を知っているだけという人があんなに多いように思われるので、今までは、日常生活での注意を主に書いてきましたが今回は、病氣に対する知識としてあげました。

心臓の病氣

心臓の病氣はいろいろありますが、最近、成人病・血圧などの関係から、特に重要になつていゝものは、心臓を養っている冠状動脈という血管の故障によつておきる「狭心症」「心筋梗塞」があります。

狭心症とは、冠状動脈の故障や

時は図書室もなく、書籍類も乏しかった学校にとつて、数多くの人

寄附申出書

東京三省堂發行
日本百科大辭典七冊續壹部
指定寄附
東白川村神土小學校備品
長瀬富郎

加茂郡東白川村長
菊田乙三郎殿

ひとつが、この百科辞典から学び得た知識は計り知れないものである

寄附書

東京三省堂發行
日本百科大辭典七冊續壹部
指定寄附
東白川村神土小學校備品
長瀬富郎

東白川村長菊田乙三郎殿



それが、それ程悪くなくても、運動などで急に体の血液がたたく必要などときなど、心臓が急によけい働かなければならぬのに、それだけ血液が十分に供給されな

つまり、一時的な心臓の筋肉の栄養障害のために起こる心臓部の痛みです。

心筋梗塞とは、冠状動脈の故障（多くの場合は硬化）がもとで、その一部が詰まったりして、その動脈で養われている心臓の筋肉が働かなくなるばかりでなく、質的に変化してこわれてしまった状態

② 血圧が高いときには、心臓は、その圧力にうちかっ

② 血圧が高いときには、心臓は、その圧力にうちかっ

う。以来六十有余年を経た今日、この優れた先人から贈られた辞典は大切に保存され、いまなお図書室の一隅で、現代っ子たちの学習ぶりを静かに見守っている。

このときの記録としては、大正三年発行の東白川村誌の神土小学校沿革の項で「明治四十五年四月昨年十月本校備品として、百科大辞典一部を寄贈された、東京花王石鹼本舗長瀬富郎氏は遺言により今回亦本校基本財産へ指定寄附巻千円を寄附されたり。奇特といふべし」と述べている。

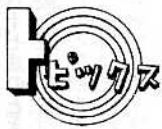
ちなみに、この明治四十五年度の同校の年間經常予算は五百五十八円ほどであった。

しかし、この動脈が硬化して内側が細くなつていゝ場合は十分に血液が流れることができせん。

つまり、心臓の筋肉が一時的な栄養不足をおこし、狭心症の発作をおこしてくることになりま

この心臓筋肉の酸素不足が長く続いたり、冠状動脈が詰まったりすると、心臓の筋肉自身が質的変化して、心筋梗塞症になります。

食塩・動物性の油・野菜などを十分にとることなどに気をつけ、このような恐ろしい状態を防ぐためにも日ごろから動脈硬化の予防につとめることが必要なのです。



交通安全願って 奉仕活動

カーブの多い村の道路に、安全な交通のためのカーブミラーが多く設置されています。そのミラーも長い月日によってほこりをかぶったり草や木によってさえぎられ、寒い朝はくもり、本来の役目を果たさなくなってしまう。そこで昨年11月越原の青年団員有志がミラー清掃の奉仕活動を行い、その後もそれぞれ自宅周辺の朝のくもりを取り除く作業を続けています。隠れた交通安全運動の推進者として紹介します。

五年目を迎えました。苦しいことや、楽しいことを、素直な気持ちで表現して送ってくれる若者たちの育つていく様子がよく分ります。また、

こんにちわ
いつもすばらしい広報を送って下さりありがとうございます。
お札の手紙を出そうと思いがら筆無精で失礼しています。
お盆に家に帰って久し振りに鮎かけをして、成果はありませんでしたが楽しかったです。
ふる里にいた頃は、裏山へ登ったり、田んぼでソフトをしたり、

今思うと恥しいのですが、家の手伝いもしないで遊びに夢中になっていた時がいちばんよかったです。
今はほとんどスポーツをやらないので、たまにやると体が痛くて仕事に影響します。
村でもスポーツが盛んなようですね。グラウンドができた事でしのびのびできて皆さんがうらやましいです。わたしの心がやすらぐ

一保から
心温まるふるさとへの便りは、進学に、就職にと村を離れている若者たちと、村を結ぶべきなどとして五年目を迎えました。苦しいことや、楽しいことを、素直な気持ちで表現して送ってくれる若者たちの育つていく様子がよく分ります。また、

私の心やすらぐ場所

皆さんーふるさとを大切に

ふるさとへの便り



場所はふる里だけです。何かあって思うのはふる里、清く澄んだ水、きれいな空気、緑の山山、落ちつく場所だと思えます。みなさん、ふる里を大切にしましょう。わたしたちの生まれ、育つたすばらしいふる里を。
広報を製作してみえるかたがたいろいろご苦労があるかと思いますが、これからも頑張ってください。お願ひします。
美濃加茂市太田町三五五二
安江 越子



あなたの作品をお寄せ下さい
・初心者、特に若い人達の投稿を歓迎します。
・毎月末までに神戸田口良三宛に出して下さい。

雪虫も紛れ飛びかふ北風に山の畠の大根を引く
足痛み泣く子を叱り引揚の列に後れじと必死なりにき
学童の帰りを急ぐ日暮どき落葉を舞はせ木枯が吹く
冬近きグラウンドの夜を人群れて聯盟野球に水銀灯眩し
天竜の川原のすすきしらじらと風に光りて日は暮れなつむ
六十路をば越せし友らは二の谷の清き流に手を触れて居る
付添いの妻四方山を語れども級友の訃報遂に語らず
御来光目近に拜む乗鞍の這松の原もかがやくばかり
すっぽりと天に通ずる道があり叔父は素直にその道を行く
六角を正しくつなぎ巣を作る蜂の枝こそ妖しと言はむ
かたばみの弾けし音に耳うたがひ空を仰げば白雲のゆく
咲きつぎて冬に入りたるベチユニヤの紫紺の花は薄埃せり
小作人の子として育ちうつむける性は残れり神職われに
松割木井桁に組みて積上げて掃らぐ危ふさ今の世に似る
この三月には何十名かが中学校を終え巣立っていきます。希望がありましたら、広報を送りますので企画広報課まで連絡下さい。

- 中野 村 雲 菊 江
- 下野 安 江 と志 江
- 橋本 安 江 勉 夫
- 平 安 江 守 平
- 橋山 安 江 幸
- 平 安 江 すみよ
- 陸奥 安 江 勤 吾
- 加舎尾 今 井 志 津
- 平 田 口 す 彦
- 西前 安 江 澄
- 神付 田 口 きの 江
- 中谷 田 口 みさき
- 中谷 樋 口 甲子 郎
- 田口 良 三